

2026年6月14日(日)

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28:19-20)

聖霊降臨節第4主日

子どもの日・花の日

朝第1礼拝 9:00~10:00
朝第2礼拝 10:30~11:45

<神の招き>
前奏 ① 今、私たちは聖霊に願う ブクステフーデ
② 父なる神よ、共にしてください ブクステフーデ

招きの詞 詩編103:1~5
交読詩編 ① 32:1~7
② こども交読文(2) 詩編8編より

讚美歌 ① 7
② 351 (こども12)

<神の言葉>
聖書 申命記8:2~3
(旧約 聖書協会共同訳 278頁)
マタイによる福音書4:1~11
(新約 聖書協会共同訳 4頁)

祈禱 美歌 ① 53
② 533 (こども129)

説教 ① 「荒れ野の誘惑」
② 「われらをこころみにあわせず」
熊江秀一牧師

祈黙 禱想
讚美歌 ① 284
② 471 (こども134)

<神への応答>

使徒信条
献金
主の祈り
新生児・子ども祝福式
頌栄 ① 24
② 24 (こども25)

派遣と祝福
後奏 ① 天にいます我らの父よ バツハ
② 天にいます我らの父よ バツハ

宣教報告

夕礼拝 18:00~19:00

<神の招き>
前奏 全て、主のために ツアッハウ

招きの詞 詩編103:1~5
交読詩編 32:1~7
讚美歌 53

<神の言葉>
聖書 詩編119:105~112
(旧約 聖書協会共同訳 947頁)
ルカによる福音書8:4~15
(新約 聖書協会共同訳 116頁)

祈禱 美歌 343
説教 「み言葉の種が実るとき」
佐藤潤伝道師

祈黙 禱想
讚美歌 536

<神への応答>
使徒信条
献金
主の祈り
宣教報告
頌栄 25
派遣と祝福
後奏 来ませ聖霊、主なる神 ツアッハウ

今週の御言葉

すると、試みる者が近づいて来てイエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」イエスはお答えになった。「『人はパンだけで生きるものではなく神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』と書いてある。」
(マタイによる福音書 4:3~4)

次週の礼拝(6月21日)

① 9:00、② 10:30
説教「成熟を目指して」
熊江秀一牧師
創世記12:1~5、
へブライ人への手紙5:11~6:12
交読詩編107:17~22
讚美歌 8、54、517、24

☒ 18:00
説教「隠しきれない信仰」
佐藤潤伝道師
サムエル記上15:22~26、
ルカによる福音書8:16~21
交読詩編107:17~22
讚美歌 54、140、504、25

■今週の祈禱課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 子どもたちの祝福の為に
4. 各部（青年会・壮年会・婦人会・新しい会）例会の為に
5. 関連幼稚園（大宮、植竹、白百合）の為に
6. 関東改革長老教会長老研修会の為に
7. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、イラン、世界の平和の為に
8. 病気の兄姉の為に

*関東教区お祈りカレンダー 長岡教会 柏崎伝道所 十日町教会

◇先週の説教より「キリストの涙」へブライ人への手紙5章1～10節、創世記14章17～21節 熊江秀一牧師

涙と共に私たちを執り成す大祭司イエスの姿が語られる。しかもそれは「人として生きておられたとき」、すなわち毎日であった。

この世の大祭司は民の代表として「人々の中から選ばれ」、「罪の赦しのための供え物やいけにえを献げるよう」立てられた。大祭司も一人の罪人として弱さがあった。しかしこの弱さゆえ「思いやり」を持つことができた。この大祭司を神が召し立てた。

主イエスはこの大祭司の資格を十分に満たした。しかも地上の大祭司にまさる永遠の大祭司として立てられた。

さらにこの手紙は、旧約聖書を引用して、主イエスを神の御子であり、メルキゼデクに連なる天から遣わされた永遠の大祭司と告げる。

この世の大祭司には弱さゆえの「思いやり」が必要であった。一方、大祭司イエスの執り成しの姿は「同情」（4：15）であった。

「思いやり」と「同情」は似ているが、意味が違う。「思いやり」はギリシャの哲学者も大切にしていた中庸の姿。人の苦しみに心を向けるけど、のめり込まない姿である。しかし大祭司イエスの「同情」は、苦しみの只中に自分から入り込み、その苦しみをご自分の苦しみとする姿である。それはギリシャの哲学者からすればおろかである。しかし大祭司イエスの「同情」がなければ、私たち罪人の救いはない。私たちの苦しみをご自分の苦しみとし、罪のあがないとしてご自分を捧げた大祭司イエスの涙の執り成しによって、私たちは救われた。

しかもそのために主イエスは「御子であるにもかかわらず」「従順を学ばれ」「完全な者とされた」。そして今や、私たちの「永遠の救いの源」となり、「メルキゼデクに連なる」永遠の大祭司となられた。キリストの涙の中で執り成されていることを心に刻み歩もう。

*礼拝中、起立が無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、☒は夕礼拝。